



2017 3 March
Bulletin
2017年3月10日発行
第21巻 第9号 通巻234号



今月の聖句

神はすべてを時宜にかなうように造り、また、永遠を思う心を人に与えられる。それでもなお、神のなさる業を始めから終わりまで見極めることは許されていない。

旧約聖書 コヘレトの言葉3章11節

クラブ会長主題 「update」 レベルアップの一年に

国際会長主題 "Our Future Begins Today" “私たちの未来は、今日から始まる”

アジアエリア会長主題 "Respect Y's Movement" “ワイズ運動を尊重しよう”

西日本区理事主題 “ワイズ魂で更なるワイズの活性化を!” "Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit!"

京都部部長主題 “いつも喜んでいなさい” "Be joyful always"

クラブ会長：安井基晃

国際会長：JOAN WILSON (カナダ)

アジア会長：Tung Ming Hsiao (台湾)

西日本区理事：岩本 悟 (熊本にし)

京都部部長：廣井武司 (京都プリンス)

「ファンド事業委員会」

初めての委員長に就任して、早8ヶ月が過ぎました。気軽に引き受けたファンド委員長でしたが、やってみると正直大変でした。というのも、私のしている仕事には「仕入れ」というものがないのです。

しかし、いろんな方とお話をして、ものを仕入れて売る一連の作業をしてみて、楽しいと感じたことも確かです。普段していないことをするのは、ある意味リフレッシュになるのかもしれませんが。

今期は、委員会の皆様やメンバーの皆様に助けられ(委員長が頼りないということもあるのですが…)

新しいものを売ることができました。熊本の三元豚や日本酒などです。これらは、多分に個人の好みが反映されておりますが、委員長のカラーがある程度あったほうがいいのか、と思います。来年も、良いものは承継し、見直すべきところは見直して新委員長のカラーを出せばいいのだと思います。楽しみがないと続けていくことはできません。

とは言っても、ファンド事業は、CS事業、YMCAサービス事業を支えるものですので、楽しんでばかりはいられません。

特に今期は、台風の影響でジャガイモ、かぼちゃファンドを実施できませんでした。目標額を達成するためには皆様のご協力が必要です。あと4ヶ月ありますが、引き続き頑張っていきますので、ご協力をお願いいたします。



松崎ファンド委員長

✂ キリトリ線

〈強調月間〉 JWF

■ 2月例会出席	
第一例会	
メンバー	13/32名
ゲスト	0名
メネット	0名
コメット	0名
第二例会	
メンバー	23/32名
ゲスト	1名
メネット	0名
コメット	0名

■ BF・EF・JWF	
BF	0円
EF	0円
JWF	0円

■ ニコニコ	
2月	
第一例会	0円
第二例会	0円
累計	17,000円

■ ファンド	
2月	0円
累計	0円

会 長 安井基晃
副 会 長 青木禎一郎
古田裕和
外部書記 小幡 弘
内部書記 溝口 誠
会 計 若井克俊

2月第一例会「大阪なかのしまクラブ 20周年記念例会」

2月11日(土)11:00~13:00 於:ホテルグランヴィア大阪
出席者:メンバー13名

2月の第一例会は「大阪なかのしまクラブ」の20周年記念例会への振替例会となり、ホテルグランヴィア大阪に行っていました。

参加者は160名を超え、なかのしまクラブさんもこれほどの規模の例会になるとは想像されていなかったと聞きます。160名を超える参加者というのは、なかのしまクラブの所属する中西部の部会の参加者を超える人数です。これほどの参加者を集められる、なかのしまクラブのアクティビティーにはいつも頭が下がる思いです。

第一部では讃美歌の斉唱、聖書朗読等、厳かに式典が行われ、引き続き第二部が始まりました。第二部の冒頭、舞台上のピアノで中村健、徹様親子の連弾が始まりました。スピーチをお聞きしますと、ご子息の徹さんはドイツでお生まれになり、幼少期に「高機能自閉症」と診断されたそうです。お父様の健さんが指揮者という環境にも恵まれ、現在は作曲家として活動されておられます。徹さんのエピソードが紹介された中、調子が変われば全く違う楽曲に聞こえるという部分は非常に興味深く聞かせていただきました。



さて、第三部は懇親会なのですが、冒頭に書きましたように、なかのしまクラブさんもこれだけ大勢のゲストが登録されるということを想定されておられなく、主会場に160余名のワイズメンが入りきれなかったのです。トゥービークラブとなかのしまクラブの一部のメンバー等、約40名程度が隣の部屋での懇親会となりました。部屋は分かれていますでしたが、なかのしまクラブメンバーのホスピタリティーと行動力のおかげで、多くのワイズメンと楽しく懇談をさせていただきました。

午後3時頃懇親会もお開きとなり、なかのしまクラブのもう一つのDBCである「東京たんぽぽクラブ」のメンバーと共に茶話会に参加させていただき、その後、京都への帰路につきました。

京都に帰ってもまだ5時前！熊本ジェーンズクラブの千代盛ワイズやZEROクラブメンバーと共に昼間からやっている四条大宮の居酒屋にて酒盛りの後、なんとか無事に家にたどり着きました。



田中和幸

2月第二例会「ゲストスピーカー例会」

2月22日(水)19:00~21:00 於:ANAクラウンプラザホテル京都
出席者:メンバー23名・ゲスト1名

久しぶりの投稿となります。齋藤です。

2月第二例会はゲストスピーカーに上坊由美子様をお迎えしてのプログラムとなりました。

内容としては「目」のお話しでした。

最初に「目」の話とお聞きして思ったのは視力や目の衰え等についてのお話しかと思っていました。



齋藤幸秀

しかし内容はその様な感じではなく実際の目の使われ方や目の隠された機能のお話しとなりました。日頃はあまり考えて目を使っておらず無意識で使っていますが実はすごい潜在能力がある事を教えていただきました。

色々楽しいテストをして頂きましたがいかに日頃無意識に自分が目を使っていることが判りました。もう少し意識して目を使ったり目の体操をすれば脳の機能も活性化することが出来きた驚くことに体幹まで鍛えられるとのことでした。

どうしても皆さんも年齢と共に衰えていくことだとは思いますが一度に鍛えられる恐るべきメソッドだという事が判りました。

また思い続けたり信じ続けることで実際の自分よりさら

に上のパワーや実力を出せる事も教わりました。

これは自分の毎日の仕事にもいかしたり人と接するまたアドバイス等をするときにも逆に人にパワーを与えられたりすることも出来るかなと思いました。

暗示やメンタルトレーニングまたイメージトレーニングみたいなものになるかもしれませんこれから普段からもその様な事を意識していければと思います。

生活や仕事上でも嫌な事やつまづく事も沢山あると思いますが「自分は出来る」「やりとげられる」というポジティブ思考でいく事が凄く大事だと思います。

これでメンタルスポーツともいわれるゴルフも少しはうまくなるのかな？(笑)

上坊先生ありがとうございました。



「京都部CSチャリティーボウリング大会」

2月26日(日)15:00~17:00 於:しょうざんボウル
出席者:メンバー5名

しょうざんボウルにて京都部チャリティーボウリング大会が行われました。

個人戦はもちろんのこと、ゲーム開始前に各クラブから代表者3名を選出してその合計点を競うチーム戦が行われました。

廣井部長の始球式の後、各レーンに別れて2ゲーム行いました。平岩ワイズがターキーを取るなど大活躍をしております、当クラブではぶっちぎりのナンバーワンでした。

2ゲームをプレイした後は、クラブ対抗戦として各会長が1投トーナメント勝負を行われました。

我らが安井会長の投げた渾身の一投はまさかのガーター…。

最後に落ちをつけてくれました。

さすが会長！

この事業は15時から17時過ぎと短時間のため、気軽に参加出来る事業だと感じました。



宮田雄輔



「沖縄クラブ例会訪問」

2月18日(土) 於: 沖縄
出席者: メンバー9名・メネット3名・コメット4名・ゲスト2名

2月18日(土) 2回目の沖縄クラブさん例会訪問でした。
(安井会長と岡本ワイズは3回目)

今回は参加者それぞれの都合に合わせて往復の日時を調整し、西日本区国際交流・森田美都子主任をはじめ、メンバー・メネット・コメット合わせて18名の参加となりました。

8月に開催するトゥーピークラブ20周年記念例会での

DBC締結に向けて、両会長により確認書にサインがされ、また一歩前進しました。

次回は京都でお会いすることを約束し沖縄を後にしました。

美味しいステーキハウスや沖縄料理店、そして腰が抜けそうなくらい怖いお化け屋敷もご案内します。



伊藤 剛

